

## 未来創造セミナー実績報告

平成27年9月16日  
草津市総合政策部草津未来研究所

## 1. 平成27年度未来研究所事業 未来創造セミナーの目的

草津未来研究所が行った過去の調査研究において南草津の課題解決のためには「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との提言を行ったことから、「未来創造セミナー」を開催することとしました。未来創造セミナーにおける主な検討項目は下記のとおりです。

## 【検討項目】

- ・ トーク空間の必要性の検討（検証）
- ・ 気軽に自由にまちづくりについて議論や話ができる空間に対する市民のニーズ把握
- ・ 気軽に自由に議論や話ができる空間演出の検討
- ・ ワークショップ等の手法の試行
- ・ 開催曜日、開催時間等のニーズ調査

（参考）過去の調査研究の提言について

- 平成24年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書-南草津地域のまちづくりの方向性について-」
  - ・ 長期的な視点で見れば、立命館大学びわこ・くさつキャンパスを有する等の南草津の強みを最大限に生かしながら、そのような人たち\*がゆるやかにまちづくりにかわれるような仕組みづくりも必要である。そして、その仕組みのなかで、**気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造されること**で、一人でも多くの方が南草津に関心をもていただければと願う次第である。（\*大企業社員や大学生など数年単位でしか居住しない住民）
- 平成26年度「大学と地域の連携に関する調査研究報告書-大学のある都市としての優位性を活かすために-」
  - ・ 地域をベースに**市民と行政、企業、大学等が連携してまちづくりを進めていくための「場所」、「環境」である連携拠点（機能）**が必要となる。

## 2. 未来創造セミナーの開催内容

まちづくりについて行政、大学、市民（在住者、通学市民、通勤市民、活動市民、企業市民）が自由に話し合う開かれた場とします。今年度はテーマ、及びワークショップ手法を変え、6回の実施を予定しています。

未来創造セミナーの目的は「開かれた場の有効性と空間演出の検討ですが、各回のテーマについては下記のことを期待しています。

- ・ 草津未来研究所主催、担当課が協力することにより、担当課の職員も市民の立場でも対話できる仕掛け。
- ・ 担当者が市民と直接対話することにより、間接的にまちづくり政策に反映を期待。
- ・ 和やかな雰囲気の中で異なる立場の他者の意見を聞くことによる新たな気づきや抱いている思いを言葉に出す。
- ・ まちづくり政策への反映は担当課が判断する。

また未来創造セミナーの基本的な流れは以下の通りです。

- ・ まちづくり政策についてのアンケート結果等をわかりやすく説明するだけでなく、アンケートで見えなかったことを参加者に問いかける。
- ・ 大学の先生から、問いかけを考える上での基礎的知識やヒントを提供する。
- ・ 様々な立場の人がワークショップで解決策を話し合う。
- ・ 参加者全員で個々の意見や経験を共有する。

## 3. 未来創造セミナー開催実績及び予定

今年度の予定は以下の通りですが、内容については今後変更の可能性ががあります。

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	
テーマ		理想とする女性の働き方	子育てしやすいまち	都市計画	まちづくり	スポーツ・芸術	大学地域連携	
庁内連携部署		男女共同参画室	子ども・子育て推進室	都市計画課	まちづくり協働課	スポーツ振興課等	未来研究所	
専門家		二宮周平(立命館大学) 京楽真帆子(滋賀県立大学)	小沢道紀(立命館大学)	武田史朗(立命館)	未定	未定	肥塚浩(立命館)	
開催日時		平成27年7月30日	平成27年8月25日	平成27年10月予定	平成27年11月予定	平成28年1月予定	平成28年2月予定	
参加者人数	市民	24						
	学生							16
	企業							0
	大学							2
	行政							1

## 4. 第1回 未来創造セミナー実績報告

(1) テーマ、目的等：

- ①テーマ 「理想とする女性の働き方って？」
- ②連携 総合政策部男女共同参画室
- ③目的 アンケートでは読み取れない理想の女性の働き方について、みなさんとともに考える。

(2) 日時：7月30日（木）14：00～から

(3) 場所：市民交流プラザ 中会議室

(4) 当日のスケジュール：

14:00	挨拶 (草津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一)
14:05～14:20	キーノートスピーチ 「男女共同参画が目指すべきもの」 (草津市男女共同参画審議会 会長 二宮周平 立命館大学 法学部教授)
14:20～14:30	問題提起 草津市第三次「男女共同参画推進計画」見直しの市民意識調査結果について (草津市総合政策部草津未来研究所)
14:30～15:00	ワールド・カフェ ファシリテータ 三井ハルコさん(川西市男女共同参画センター長)
14:30～14:45	独白
14:45～15:00	投票
15:05～15:35	対話
15:35～15:50	共有
15:50～16:00	休憩
16:10～16:25	考察 (草津市男女共同参画審議会 委員 京樂真帆子 滋賀県立大学人間文化学部教授)
16:25	閉会

## 5. 第1回未来創造セミナーの内容について

### (1) キーノート・スピーチ

草津市男女共同参画審議会会長の二宮立命館大学教授より、男女共同参画の歴史と理念についてご説明いただきました。

### (2) 問題提起

草津未来研究所より問題提起として、平成26年度に実施した男女共同参画についてのアンケート結果を説明しました。

男女共同参画では、女性が希望すれば、フルタイムで「仕事を続ける」ことを理想としているが、アンケート結果では、「子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」、「子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が多い結果がでたこと、この結果は現状でのベストなのか、理想的な男女共同参画社会ができたあとでも、理想なのかを「理想の女性の働き方って？」という形式で問いかけました。

### (3) ワークショップ テーマの選択

川西市男女共同参画センター長の三井ハルコさんにワークショップのファシリテータをお願いしました。当日は個々の話したいことがらをポストイットに記入していただき、「仕事の仕方」、「ジェンダーと仕事」、「新しい働き方」、「ライフサイクルと仕事」の4つのグループに分類しました。

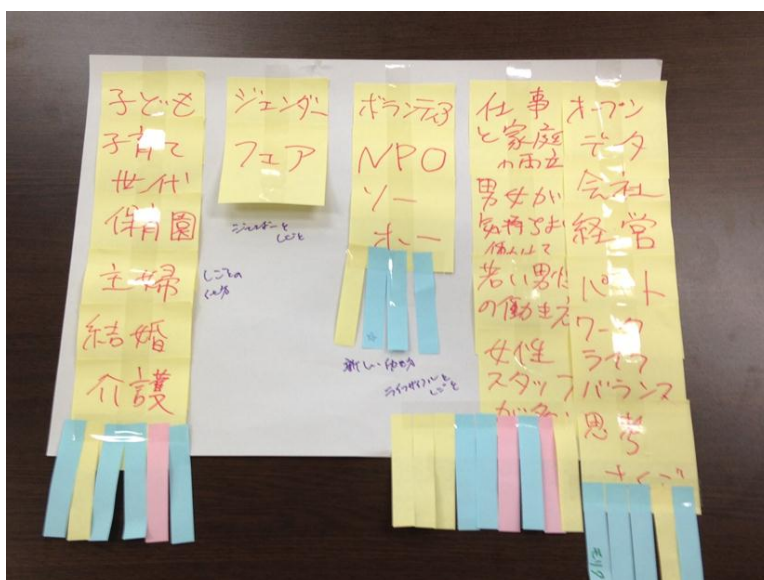


写真1. 課題抽出

そのあと投票で各自が話し合いたいテーマを選びました。最終的に次の3つのテーマになりました。

仕事の仕方      ・ 新しい働き方      ・ ライフサイクルと仕事

## (4) ワークショップ 各自の気づき

テーマごとのグループに分かれ、話し合ったあと、各自の気づきを発表していただき、ホワイトボードに記入して共有しました。

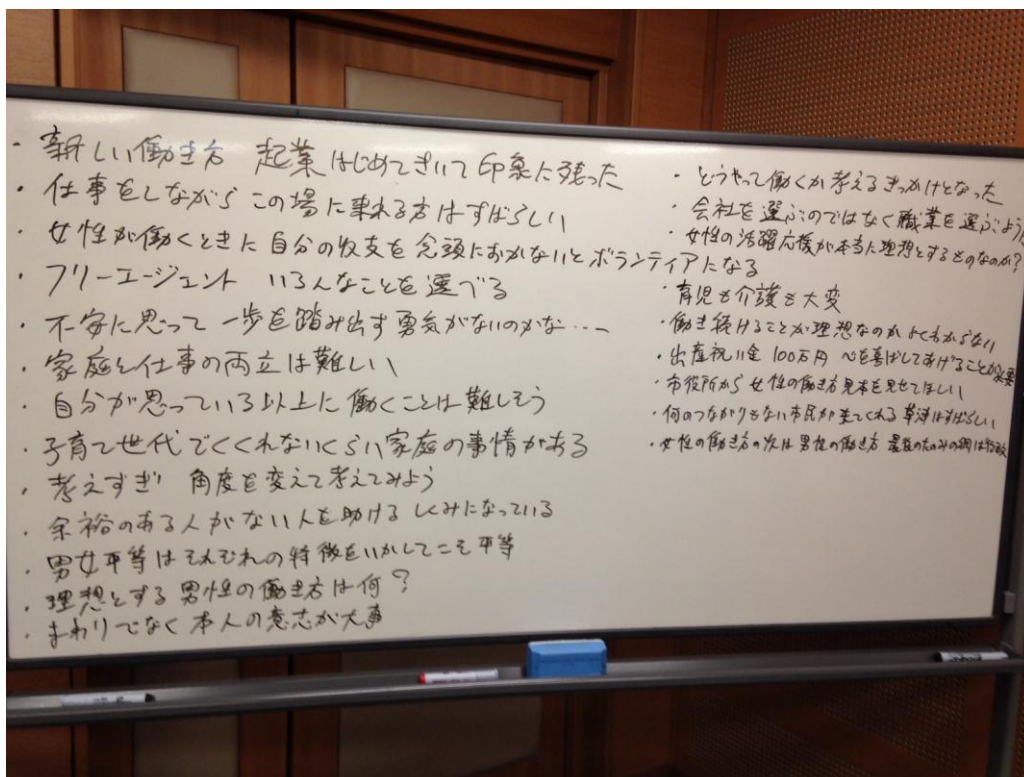


写真2. 各自の気づき

- ・ 新しい働き方 起業はじめてきて印象に残った
- ・ 仕事をしながら、この場に来れる方は素晴らしい
- ・ 女性が働くときに自分の収支を念頭におかないとボランティアになる
- ・ フリーエージェント いろんなことを選べる
- ・ 不安に思って一歩を踏み出す勇気がないのかな・・・
- ・ 家庭と仕事の両立は難しい
- ・ 自分が思っている以上に働くことは難しそう
- ・ 子育て世代とくれないくらい家庭の事情がある
- ・ 考えすぎ 角度を変えて考えてみよう
- ・ 余裕のある人がない人を助ける仕組みになっている
- ・ 男女平等はそれぞれの特徴をいかしてこそ平等
- ・ 理想とする男性の働き方は何？

- ・ まわりでなく本人の意志が大事
- ・ どうやって働くか考えるきっかけとなった
- ・ 会社を選ぶのではなく職業を選ぶように
- ・ 女性の活躍応援が本当に理想とするものなのか？
- ・ 育児も介護も大変
- ・ 働き続けることが理想なのかよくわからない
- ・ 出産祝い金100万円 心を喜ばしてあげることが必要
- ・ 市役所から女性の働き方見本を見せてほしい
- ・ 何のつながりもない市民が来てくれる 草津はすばらしい
- ・ 女性の働き方の次は男性の働き方 最後の頼みの綱は行政

※ホワイトボードの原文のまま記載しています。

#### (5) 考察

最後に草津市男女共同参画審議会委員の京樂滋賀県立大学教授に次のご助言をいただきました。



写真3. 二宮先生（左）、京樂先生（右）

- ・ 女性だけではなく、男性も男らしさに拘泥せず、自分らしい働き方を！
- ・ 子育てや介護、特に病児保育など利用したいときに利用できる使いやすい制度

を！

- ・ 女性の働き方をきっちりと評価し、意思決定の場に女性を！
- ・ まずは市役所が率先を！

#### (6) 男女共同参画室としてのまとめ

- 職員も様々な立場の方々とひとりの市民として話し合った経験を今後の業務に活かしていくことになります。
- セミナーの成果をもとに今後の第3次草津市男女共同参画推進計画の見直しを検討していきます。
- 本セミナーの成果は、参加した担当課（男女共同参画室）が様々な政策に活かしていくことになります。

## 6. 未来創造セミナーとしてのまとめ

### (1) 参加者属性

男女共同参画室と連携したため、男女共同審議会委員の方々、子育てサークルの方々を中心に参加していただきました。学生の参加も働きかけましたが、当日は試験期間中のため、出席いただけませんでした。子育てサークルにお声掛けさせていただきましたが、託児サービスがないなど不備な点多々ありました。

性別でも平日の午後ということもあり、女性が中心になりましたが、本来は企業の男性の参加が求められるテーマでした。

テーマは可能な限り多様な立場の人に参加していただく必要があるため、より参加しやすい時間、参加しやすい空間づくりを検討する必要があります。

属性別		性別		年代別	
属性	人数	性別	人数	年代	人数
市民	15	男	4	20代	1
学生	0	女	20	30代	4
企業	2	その他	0	40代	3
大学	1	合計	24	50代	5
職員	6			不明	11
合計	24			合計	24

\* テーマ、開催時間の影響（特に学生は試験期間）を受け、学生の参加なし。

## (2) アンケート集計結果

セミナーの運営等全般、セミナーの内容についてはいずれも高評価を得ることができましたが、もともと関心のある方々ばかりでしたので、謙虚に受け止める必要があります。

(回答数：15人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	5	8	2	0	0	15
内容	4	10	1	0	0	15

問い	大いに活かせる	いくらか活かせる	ほとんど活かせない	合計
今後の活動	3	9	1	13

問い	適切	長い	短い	合計
時間	14	1	0	15

## (3) セミナー参加者の主な意見

※アンケートに記述いただいた内容を原文のまま、記載しています。

- ワークショップ形式で参加者の生の声が聞けたことは有意義でした。
- 今まで考えたり、話し合う機会がなかったことなので、良い時間となりました。
- 草津でのアンケート結果の解説がわかりやすかった。
- 学びと共有の場をありがとうございました。
- 様々な立場の方の意見を聞く良い機会だったと思います。
- ワークショップ形式のセミナーはとてもよいと思います。さまざまな意見や考えを聞いてよかったです。先生方の専門の話、分析、解説で現状も知れてよかったです。
- 話しやすい。

このような気軽に自由に話し合える場が必要とされていることがわかりました。

## (4) 未来創造セミナーとしての成果

- テーブルの配置を互い違いにし、他のテーブルの人と目が合わないレイアウトにしたり、机の上に飴を置いたり、セルフサービスの飲み物を置いたり、可能な限りリラックスした雰囲気話し合えるよう工夫しました。
- アンケートの説明もわかりやすい言葉で、少し笑いを交えながら、気軽な雰囲気聞いていただくよう配慮しました。
- アンケートでは、気軽に自由に話せたとのこと意見をいただきました。
- 開催曜日、開催日時については子育て中に人に配慮して平日午前中、または土日に開催



するようご意見をいただきました。

- 学生については試験期間中であり、参加してもらえませんでした。学生をターゲットにするなら、大学等に確認して学生の来易い曜日、時間帯を調べて設定する必要があります。
- セミナーの案内について、魅力的ではないとの意見をいただきましたので、今後検討いたします。

## 7. 第2回 未来創造セミナー実績報告

## (1) テーマ、目的等

## ①テーマ

「みんなで子育てしやすいまちを考えよう！子育ては社会の結晶（クリスタル）！」

## ②連携 子ども家庭部子ども・子育て推進室

## ③目的

- ・ 認定子ども園、及びぽかぽかタウンの認知、
- ・ アンケートでは見えない市民の意識を市民と対等な立場で対話することにより、今後の政策形成に役立てる。

(2) 日時：8月25日（火）14：00～から

(3) 場所：市民交流プラザ 大会議室

## (4) 当日のスケジュール

14：00	ご挨拶 津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一)
14：05 ～ 14：20	問い 「草津市の子育てについて」 (草津市総合政策部草津未来研究所)
14：20 ～ 14：40	ヒントでヒント！ 「子育ては社会の結晶（クリスタル）！」 小沢 道紀 先生（草津未来研究所副所長・立命館大学スポーツ健康学部）
14：40 ～ 16：20	ワークショップ 「みんなで子育てしやすいまちを考えよう！」 ファシリテータ 三井ハルコさん (川西市男女共同参画センター長)
16：20 ～ 16：25	まとめ
16：25	閉会

## 8. 第2回未来創造セミナーの内容について

### (1) アンケートの説明

草津未来研究所より平成25年度に実施した子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果を解説しました（別途巻末の当日配布資料参照）

### (2) ワークショップのヒント

そのあと、子育てしやすいまちを考える上でのヒントを小沢立命館大学准教授にお話をいただきました。



写真1. アンケートの結果説明



写真2. ワークショップのヒント

#### ・子育ては社会の結晶（クリスタル）！」の意味

子育ては自助（親子です）、共助（仲間と一緒にする）、公助（行政と一緒にする）という助け合いの組み合わせで行います。それぞれの得手不得手などにより、助け合いの組み合わせが変わります。ある人にとって自助であるものがある人にとっては共助として提供してもらうものであったり、共助として提供するものであったりします。

このように究極の子育ては、個々人にあった多様な助け合いの組み合わせが、個々人にとってクリスタルのような輝きを放つ、そのクリスタルが集まった社会は子育てしやすいまちということから、「子育ては社会の結晶（クリスタル）！」としました。

### (3) ワークショップの進め方

ワークショップは下表のように進める予定でしたが、当日は台風が近づいていることもあり、可能な限り時間を短縮する方向で進めることとしました。

14:40 ~ 14:55	自己紹介
14:55 ~ 15:15	課題だし
15:15 ~ 16:00	クリスタルを作る
16:00 ~ 16:20	クリスタルの発表

## (4) ワークショップ 課題だし

川西市男女共同参画センター長の三井ハルコさんにワークショップのファシリテータをお願いしました。まずはグループで草津市の子育てに関する課題を挙げていただきました。



写真 ワークショップの様子

## 課題だし一覧

- 医療費を中学生まで無料に！
- 大きな公園（小さい子だけでなく、誰でも遊べるような）がほしい！
- 団塊の世代（シルバー世代）と子育て世代のマッチングができないだろうか？
- 平日が母子家庭みたいなので、男性の平日の育児参加が必要！
- 趣味などをする時間がほしい！
- 子育てと母親（子供に集中するのではなく）をまとめた愚痴なんかを聞いてもらえるようなサポートがほしい！
- 循環社会とハード・ソフト（子供と大人を大家族に考える。）を生み出していく。できることからやっていく。口コミ、お母さんのネットワーク、こういった仕組みをつくっていく！
- 子どもから親へ、子どもが親に・・・こんな循環をうまく大家族として生み出していく。
- 外国人の方など多様な支援、多様な家族形態へのサポート。仕事の仕方にあわせた助け

など子育てに関する柔軟な利用の仕方がほしい！

- 小学校と地域・世代間のつながり、緊急時の相談、いろんな人がつながれる、気軽に行ける場所があり、相談ができればいい！

#### (5) ワークショップ クリスタル！

そのあと投票で各自が話し合いたいテーマを選び、議論する予定でしたが、当日は台風の影響もあり、同じグループで引き続き、課題について話し合っていました。

各グループがワークショップで作成した模造紙については巻末に掲載しています。

#### (6) ワークショップ まとめ

- 当日は台風が近づいていたこともあり、ワークショップの時間を詰めたこと、その影響で進め方を変更したこと、等により、深く議論することができませんでした。
  - ・ アンケート結果でも、「時間が短くて、(笑) 何度も何回も実施していく必要があると思います。」「台風で話す時間短縮が残念でした。でも、テーマに沿って深く掘り下げた話が出来、良かった。」等ポジティブなコメントをいただきました。
- 未来創造セミナーは、対話のきっかけづくりであるため、担当課の方で今後継続等検討いただければと考えています。
  - ・ 子ども・子育て推進室の場合、本セミナーを「ぼかぼかソン」の導入セミナーとして位置づけており、継続性は予め担保されていました。

#### (7) 子ども・子育て推進室としてのまとめ

- 本セミナーは、ぼかぼかタウンをリニューアルするための「ぼかぼかソン」への導入セミナーとして位置づけており、会場からもぼかぼかソンの参加申込があり、一定の成果を上げたと評価しています。
- 本セミナーの成果は、参加した担当課（子ども・子育て推進室）が様々な政策に直接間接に活かしていくこととなります。

## 9. 未来創造セミナーとしてのまとめ

### (1) 参加者属性

子ども・子育て推進室との連携のため、子育てサークルの方々を中心に参加していただきました。学生の参加も働きかけましたが、当日は夏季休暇中のため、出席いただけませんでした。子育てがテーマですので、会場を半分に仕切り、子どもの遊び場所を設けたため、お子様連れの方も多く参加していただきました。ただし、保育士等の専門職を配置しなかったため、参加した保護者の方々が安心しておられたかは不明です。

第1回の時点で第2回の開催日時が決定していたため、平日夜間や土日に変更できなかったため、女性が中心になりましたが、本来は男性の参加が求められるテーマでした。

可能な限り多様な立場の人に参加していただく空間づくりが未来創造セミナーの目的もあり、多様な立場の人がより参加しやすい時間、参加しやすい空間づくりを引き続き検討する必要があります。

#### (1) 属性別参加状況

属性	人数
市民	21
学生	0
企業	0
大学	1
職員	10
合計	32

#### (2) 性別参加状況

性別	人数
男	5
女	27
その他	0
合計	32

#### (3) 年代別参加状況

年代	人数
10代	0
20代	0
30代	1
40代	8
50代	1
60代	1
不明	21
合計	32

### (2) アンケート集計結果

セミナーの運営等全般、セミナーの内容についてはいずれも高評価を得ることができましたが、もともと関心のある方々ばかりでしたので、謙虚に受け止める必要があります。アンケートでもご意見をいただきましたが、市が呼びかける場合、呼びかけるルートや開催する時間がほぼ固定しているため、いつも同じ顔ぶれになりがちなので、ぜひ話したいのにこのような場所を知らない人、知っているけれど一歩踏み出せないでいる人、楽しそうに議論している様子を見てテーマに関心を持つかも知れない人など多様な立場の人が気軽に参加できるような空間づくりを考えていく必要があります。

(回答数：17人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	3	9	3	0	1 (短い)	16
内容	3	12	1	0	0	16
問い	大いに活かせる		いくらか活かせる		ほとんど活かせない	合計
今後の活動	6		9			15
問い	適切		長い		短い	合計
時間	11		4		1	16
問い	適切	曜日が不適切	時間帯が不適切	曜日も時間帯も不適切	短い	合計
開催日時	5	0	7	4		16

- \* アンケート回答は17名でしたが、1名はコメントのみでした。
- \* 「今後の活動」が1名少ないのは、「活かせるかどうかわからない」ため。

### (3) セミナー参加者の主な意見

気軽に自由に話し合える空間の演出については一定程度の評価を得ています。アンケートでも前向きな意見を多くいただきました。このような空間のニーズはあるように考えています。3回目以降は都市計画やまちづくりにテーマを変えても有効かを検討していく予定です。

- 数値から実際の実感を話し合うことが出来る流れ、今んな (原文ママ) 方の楽しい話。
- 気軽に話せる雰囲気だったので話しやすかったです。話が盛り上がってワクワクしました。次につながるといいなあと思います。
- こうやって行政の方、大学の方、市民がざっくばらんに話せる機会がもてていることがそもそも素晴らしい。
- 問題意識を持たないで来ましたが、色々考える機会になりました。こういう所から未来創造というものがあるのかなと思いました。
- 広報の仕方、口コミの仕方、デザイン、わくわく感、おもしろ感をもっとたくさん出す。おもしろ感→やっている人が楽しくなる様な、やっている人が次の人をつれてくれるしくみ
- 何もしないよりは、こういうことやってます！と発表したり、どう思いますか？と聞いたり、話し合ったりすることは有意義なことだと思います。
- 色々な考えを聞いたのは良かったです(私の子供は小さいけれどもう少し大きくなったら、そういう問題も出てくるなあ、、、とか) 実際、市役所ではこういう風になっていますとか直接職員の方と話せたり、立場の違う方と話せて良かったです。
- 活かせるかどうかわかりませんが、活かして欲しいと思う。せっかく話合ったのだから (原文ママ)
- いつも同じ顔ふれになりがちなので、ぜひ話したいのにこのような場所を知らない人、知っているけれど一歩踏み出せないでいる人、楽しそうに議論している様子を見てテーマに関心を持つかも知れない人などいろんな人が気軽に参加できるように考えてほしい

い。

一方で、次のようなご意見もいただきました。安易にお子様連れOKとするのではなく、テーマによってはお断りしたり、別室託児サービスを準備したり、などの配慮が必要なことに気づかされました。

- 母たちの話を本格的に聞いたら、別室託児でもいいと思った。
- 子どもOKのセミナーでわかっていることやのに小さい子どもがたくさん来てるのに一言も子どもに話しかけない男性の職員さんって何なんでしょうね?? びっくり!! まずそこからやん? (原文ママ)

運営面においても以下のようなご意見をいただきました。各テーブルに職員を配置するなど配慮していましたが、職員にファシリテーター等の研修をしていないので、満足な結果を得られなかったグループもあったようです。参加する職員、あるいはファシリテーターのスキルを持つ職員をフリーで各グループを巡回させるなどの工夫が必要なことがわかりました。

- 私のいたテーブルは当たり(?)だったようで、とても楽しい有意義な時間を過ごせましたが、お友達のいたテーブルは、終始雑談で何だかなあ…。と思ったようです。同じセミナーにせっかく参加したのだから、できるだけみんなが楽しくすごせた方が良かったのになあ…。と思います。(私は、よくセミナーに行くけど、友達は初めてです。) 初めて来た人にこそ、楽しいやん。また来てもいいな。と思ってもらった方がよいのでは? 様子みて、席かえとか、あっても良かったのかな? と思いましたが、どうでしょう。初参加の人に、雑談では、次来ないよ。(原文ママ)

#### (4) 未来研究所としての成果

- 第1回セミナーの反省を踏まえ、「クリスタル」というキーワードを設定しました。このキーワードで、会場が和やかな雰囲気になった効果はあったと考えています。
- 今回は子育てがテーマであったため、子ども・子育て推進室と連携し、会場の一角にプレイコーナーを設けました。子育てをテーマにしたワークショップで子どもの声が聞こえることを肯定的に捉える参加者もいましたが、一方で、子どもに対するケアが不十分であるとの意見をいただきました。

#### (5) 今後の課題

- 2回のセミナーで気軽に自由に話せる空間づくりについては問題ないと考えますが、専門性、及び次の活動に繋げる実行性・継続性という面が今後の課題です。
- 課題解決のためには、大学や商工会議所、まちづくりセンターとの連携が必要であり、次回第3回セミナーは大学研究室との連携を検討したいと考えています。

以上